



平成 29 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 櫻 島 埠 頭 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 井 正 博
(コード番号：9353 東証第 2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 (総 務 担 当) 増 田 康 正
TEL (代 表) 06-6461-5331

平成 29 年 3 月 期 業 績 予 想 及 び 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 1 月 31 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。また、平成 29 年 3 月期の 1 株当たり配当予想について下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 28 年 4 月 1 日 ~ 平 成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株 当 り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	4,300	20	60	10	0.67
今回発表予想 (B)	4,100	△30	10	△35	△2.33
増減額 (B) - (A)	△200	△50	△50	△45	—
増減率 (%)	△4.7	—	△83.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月 期)	4,464	84	132	155	10.38

(2) 業績修正の理由

平成 29 年 3 月 期 の 連 結 業 績 予 想 の 売 上 高 に つ い て は 、 物 流 倉 庫 セ グ メ ン ト の 化 学 品 セ ン タ ー (旧 危 険 物 倉 庫) の 再 稼 動 時 期 が 当 初 見 込 み よ り 遅 れ る な ど の 影 響 は あ っ た も の の 、 第 3 四 半 期 累 計 期 間 ま で は 概 ね 当 初 予 想 通 り 推 移 し て お り ま し た 。 し か し 、 第 4 四 半 期 に お け る ば ら 貨 物 セ グ メ ン ト の 貨 物 取 扱 数 量 が 、 得 意 先 の 動 向 等 に よ り 、 当 初 見 込 ん で い た 水 準 に 及 ば な い こ と な ど か ら 、 前 回 発 表 予 想 を 下 回 る 見 込 み で す 。 こ れ に 伴 い 、 売 上 原 価 の 節 減 等 に 努 め る も の の 、 営 業 利 益 、 経 常 利 益 及 び 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 は 前 回 発 表 予 想 を 下 回 る 見 込 み と な り ま し た 。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の理由

当社は、安定的な配当を継続することを利益配分の基本方針とし、経営の安定性と財務体質の維持、強化を重視する観点から、内部留保の水準と当期純利益の見通しを考慮して配当金額を決定しております。

当期の配当予想につきましては、当期業績が前述の通り特段の事情により1株当たり当期純損失となる見込みですが、上記方針に基づき、次年度以降の業務環境の動向、財務状況等を総合的に勘案し、引き続き1株当たり1円とすることといたしました。

なお、本件は平成29年6月下旬開催予定の当社定時株主総会に付議する予定であります。

(2) 修正の内容

	1株当たり配当金(円)	
	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成28年5月13日発表)	未定	未定
今 回 修 正 予 想	1.00	1.00
当 期 実 績	—	—
前期(平成28年3月期)実績	1.00	1.00

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上